


イーグルデコ 20R 施工マニュアル

(平成29年9月15日改定)

日本工業規格認証工場

 松岡コンクリート工業株式会社

本 社 〒503-0917 岐阜県大垣市神田町1丁目6番地
TEL 0584-62-5083

本社工場 〒503-0111 岐阜県安八郡安八町西結1196
TEL 0584-62-5007 FAX 0584-62-5265
認証番号 JIS TC0407014

三重工場 〒511-0411 三重県いなべ市北勢町京ヶ野新田351
TEL 0594-82-1130 FAX 0594-82-1131
認証番号 JIS TC0407001

愛知工場 〒444-3443 愛知県岡崎市鍛埜町坂口1-1
TEL 0564-85-7622 FAX 0564-85-7623
認証番号 JIS TC0406018

静岡工場 〒426-0205 静岡県藤枝市花倉123-1
TEL 054-648-1555 FAX 054-648-1556

イーグルデコ20R 施工マニュアル

INDEX

1. 準備工	
1-1. 必要備品	1
2. 掘削・床掘	
2-1. 掘削・床掘	2
3. 基礎	
3-1. 基礎砕石	3
3-2. 現場打基礎コンクリート打設	4
3-3. 滑動防止鉄筋位置	5
4. 最下段	
4-1. 丁張・墨打ち	6
4-2. 吊り金具	7
4-3. 最下段据付	8
4-4. 据付位置・法勾配の調整	9
4-5. ①仕切り型枠の設置②良質土埋戻し	10
4-6. 胴込・裏込コンクリート打設(最下段)	11
5. 2段目	
5-1. イーグルデコ20R据付(2段目)	12
5-2. 法勾配調整	13
5-1. 仕切り型枠引き上げ・良質土埋戻し	14
5-2. 胴込・裏込コンクリート打設(2段目)	15
5-2. 水抜きパイプの設置	16
6. 3段目以降	
6-1. 以降繰り返し	17

1. 準備工

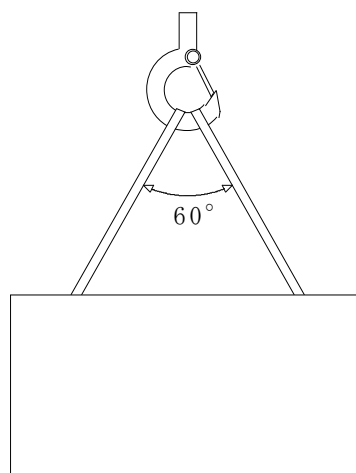
1-1. 必要備品

- 吊具 { 専用吊金具 1個(当社より貸し出し)
- シャックル 2個
- 玉掛けワイヤー 2本
- ボール (小 数本)
- キャンバー、ライナープレート (調整用)

シャックルのサイズについては、単純に製品重量から計算せず、製品を吊る場合の荷重方向を考慮し、**割増を行ってください**。(参考:吊角度60°の場合、割増係数1.18以上)
同様に玉掛けワイヤーの径についても**割増が必要**になります。(下表参照)

製品重量(単位:tf)

径 (mm)	2本吊 60°
8	0.91
9	1.1
10	1.4
12	2.0
14	2.7
16	3.6
18	4.6
20	5.6
22	6.8
24	8.2



2. 掘削・床掘

2-1. 掘削・床掘

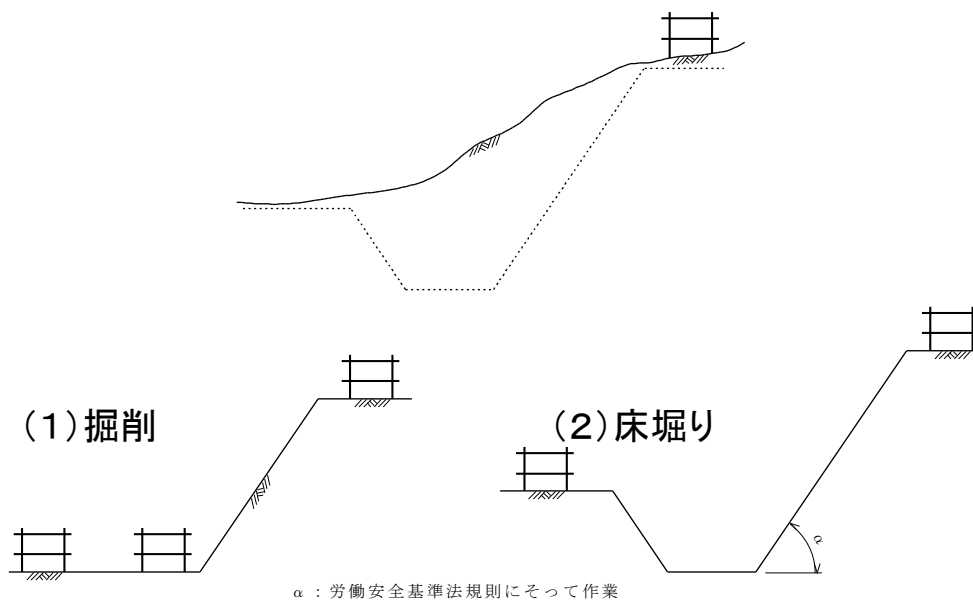
設計図書に示された床掘線・掘削線に従って施工する。

床掘は必要根入れに基礎砕石及び基礎コンクリートの厚さを加算して決定する。

型枠等の基礎工事に支障のないよう基礎の前後に余裕代を確保しなければならない。

※余裕代の基準は500mm(土木工事数量算出要領:建設省中部地方建設局監修)

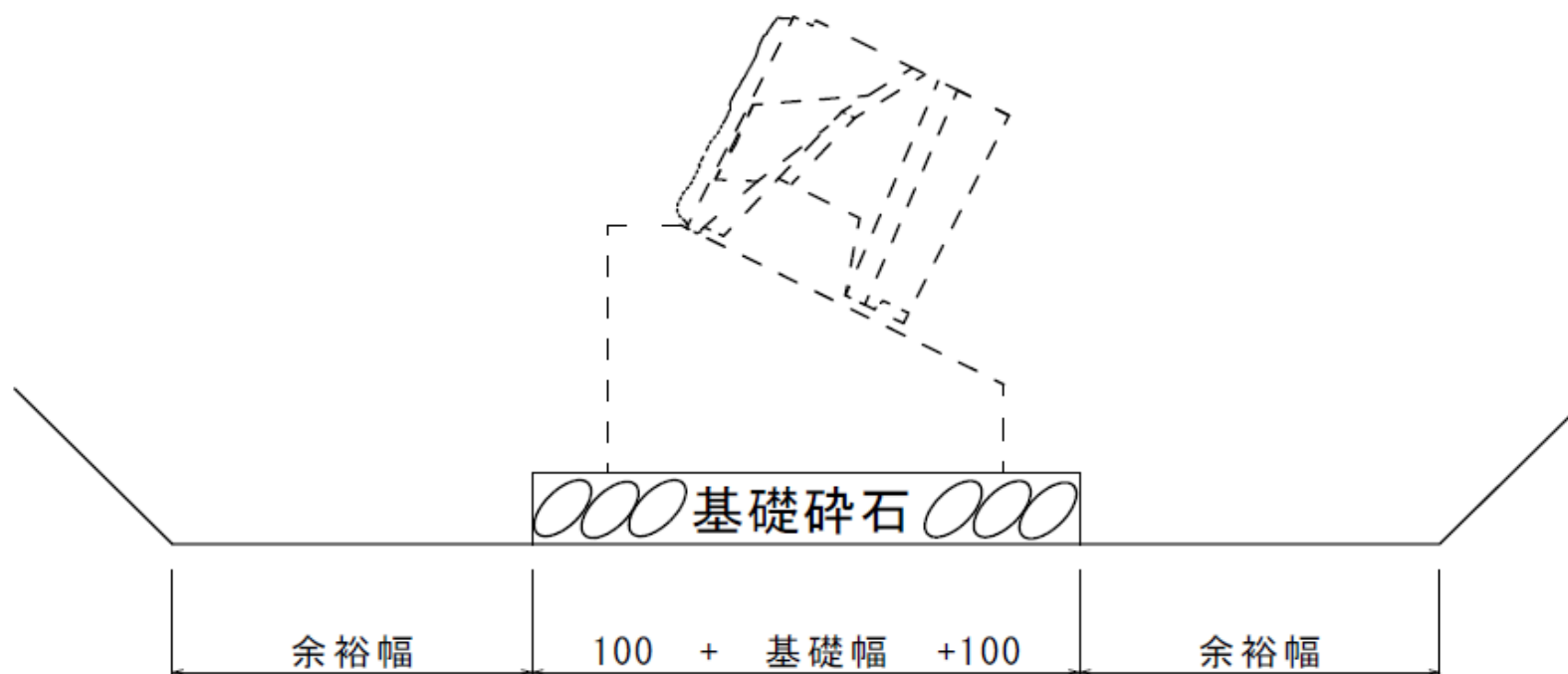
床掘にあたっては、基礎地盤を乱さないよう慎重に施工する。



3. 基礎

3-1. 基礎砕石

- ・基面整正を行った後、設計図書に示す所定厚まで締め固めながら仕上げます。



3. 基礎

3-2. 現場打基礎コンクリート打設

- (1) 型枠を組み立てる。
 - (2) 斜部の勾配に注意して、コンクリートを打設します。(図-1)
 - (3) 養生後、型枠を解体する。
 - (4) 滑動防止鉄筋は、製品据付前にドリル等で基礎コンクリートに孔をあけ、挿入してください。(図-2)
- 注) 基礎コンクリートは若干低めに打ち、空練りモルタル・ライナープレートなどで高さ調整を行うと製品据付がしやすくなります。

図-1

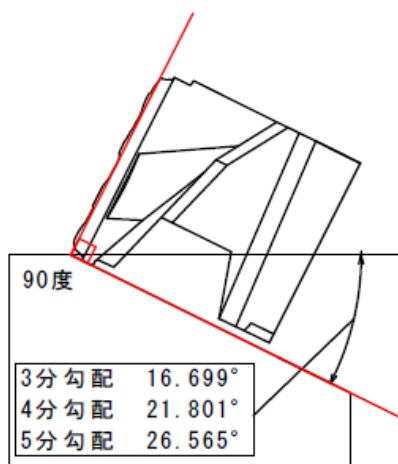
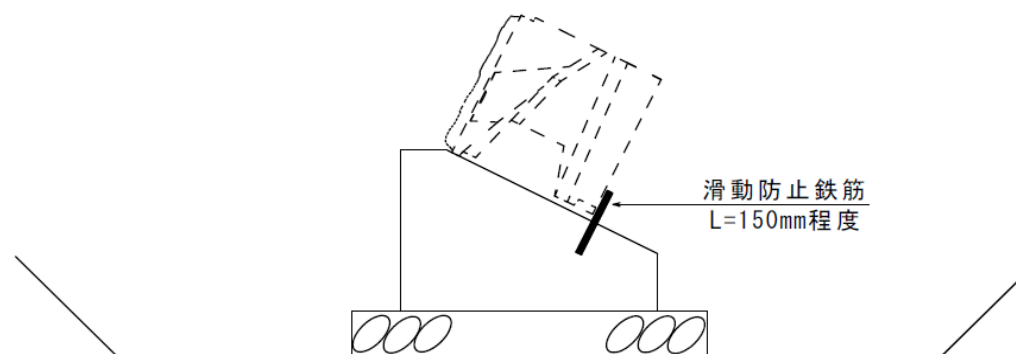


図-2

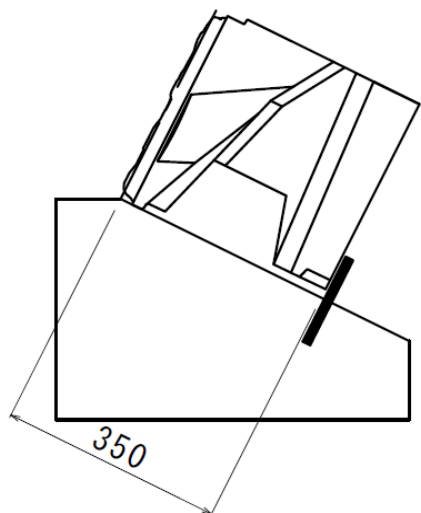


※製品の表面に対して底面側の角度は90°になっています。
基礎コンクリートの角度に注意してください。

滑動防止鉄筋の径は設計図書に従い、指定が無い場合はD13以上としてください。

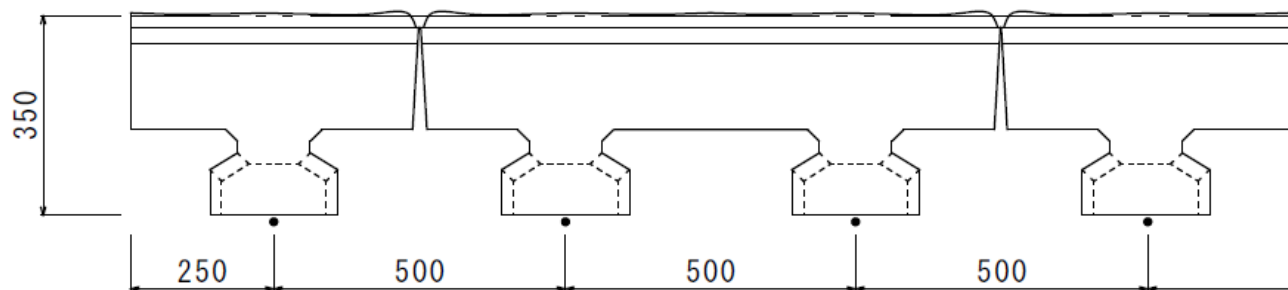
3. 基礎

3-3. 滑動防止鉄筋位置



製品背面(t=350mm)に鉄筋があたるように位置決めして下さい。
その際、若干(5mm程度)の余裕を作っておくと微調整がしやすくなります。

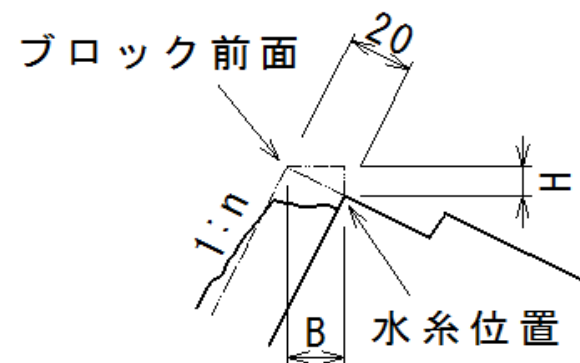
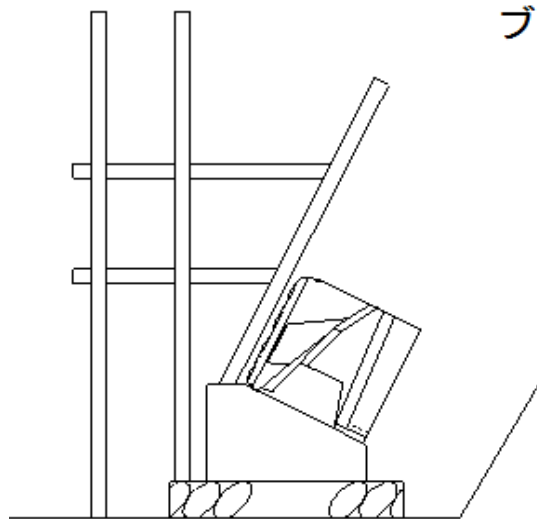
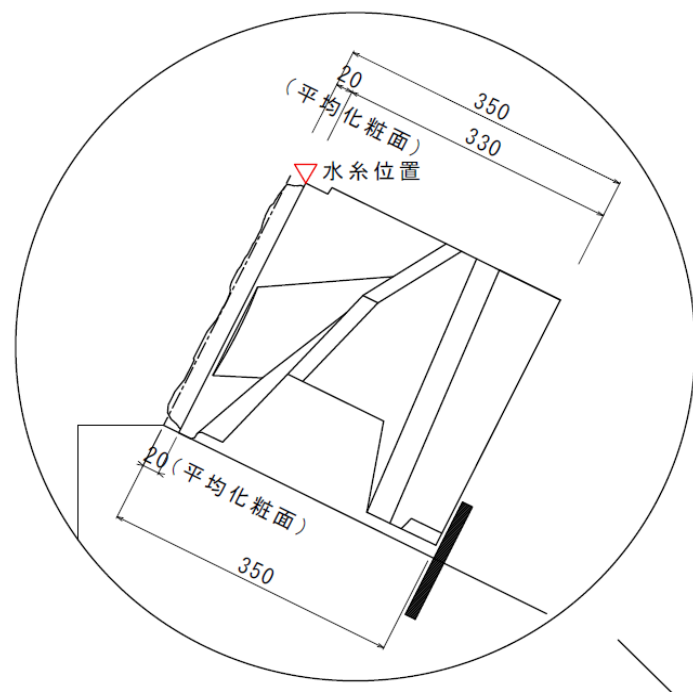
下図の位置に滑動防止鉄筋を設置して下さい。
標準製品(RA)に2箇所、半丁製品(RB)に1箇所となります。



4. 最下段

4-1. 丁張・墨打ち

製品には化粧面があり(下図参照)、設計図書には化粧の平均厚が含まれていますので、丁張りには注意してください。※水系は、ブロック控え厚(t=35cm)から2cm控えた位置に張ることになります。水系を張り、製品据付の通り・高さなどを確認して下さい。また、基礎コンクリートの製品据付位置も同様に2cm控えた位置に墨打ちして下さい。



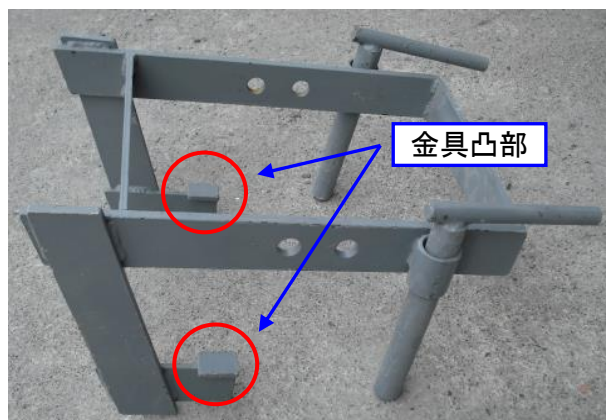
ブロック勾配	B	H
3分	19	6
4分	19	7
5分	18	9

単位 : mm

4. 最下段

4-2. 吊り金具

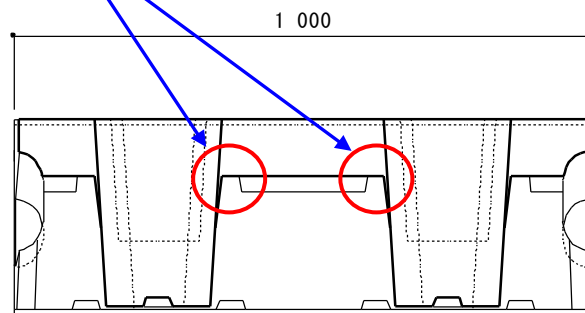
金具凸部を製品背面の凹部にはめ込んで下さい。



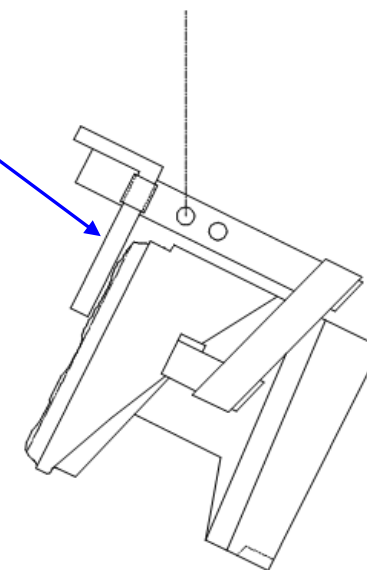
安全のため、必ずピン留めしてください。
シャックルをかける吊り孔で、吊り勾配を調整します。
ワイヤーは必ず点検・検定済みのものをご使用ください。



製品背面凹部



アーム留めピン

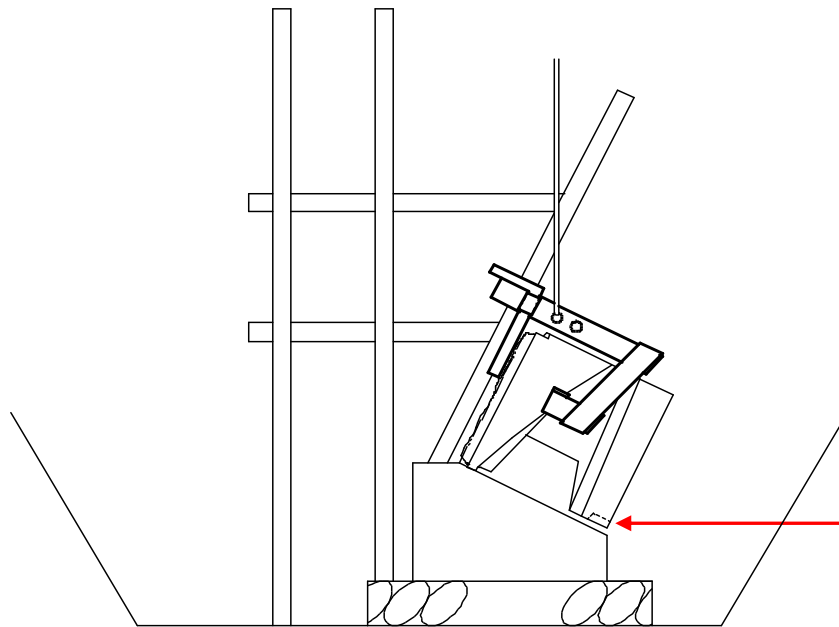


4. 最下段

4-3. 最下段据付

専用吊り金具は、必ずピンでロックして下さい。

注意 : 安全のため、吊荷作業の下には入らないでください。

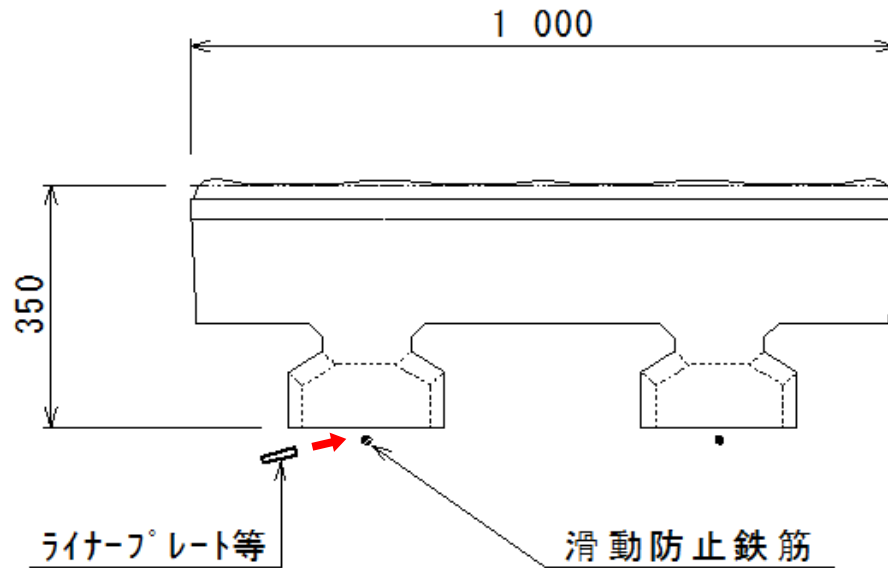


空練モルタル・ライナープレート等で
高さ調整してください。

4. 最下段

4-4. 据付位置・法勾配の調整

高さ及び勾配は空練モルタル・ライナープレートなどを用いて調整してください。
前後の位置調整は、製品と滑動防止鉄筋の間にライナープレートを差し込んで行うと
やりやすい場合があります。

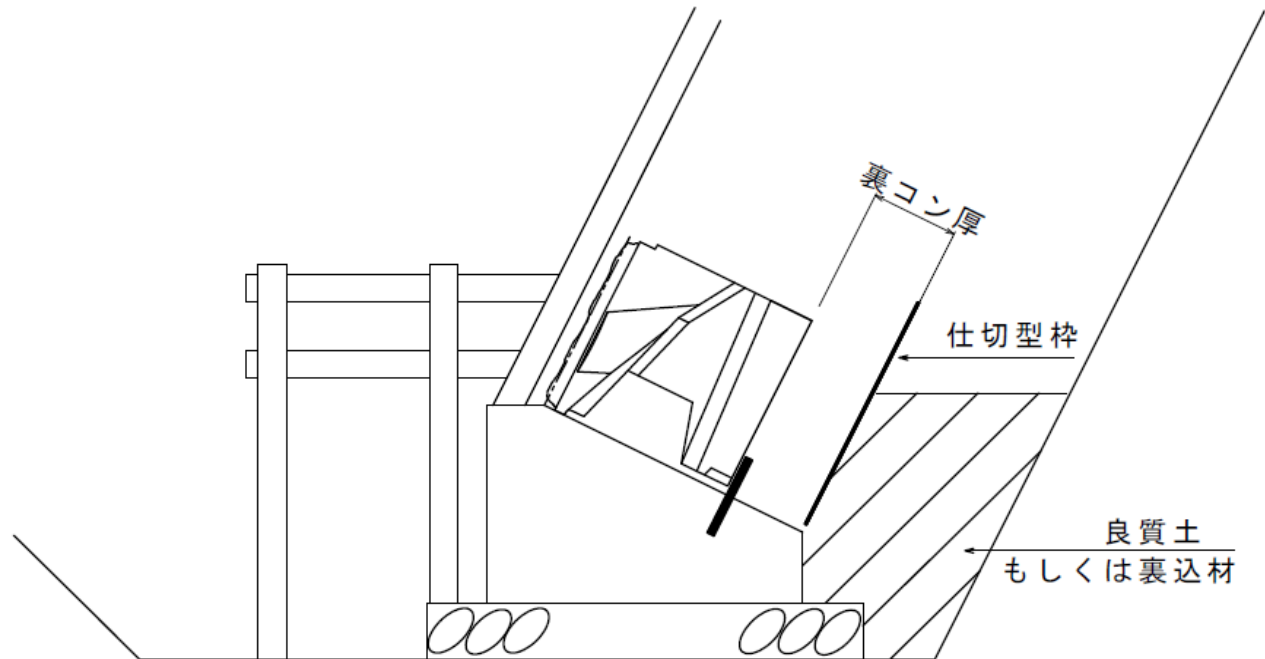


4. 最下段

4-4. 良質土(裏込材)埋め戻し

背面の埋め戻しを行います。

転圧する際にはイーグルデコ20Rに当てないように注意してください。

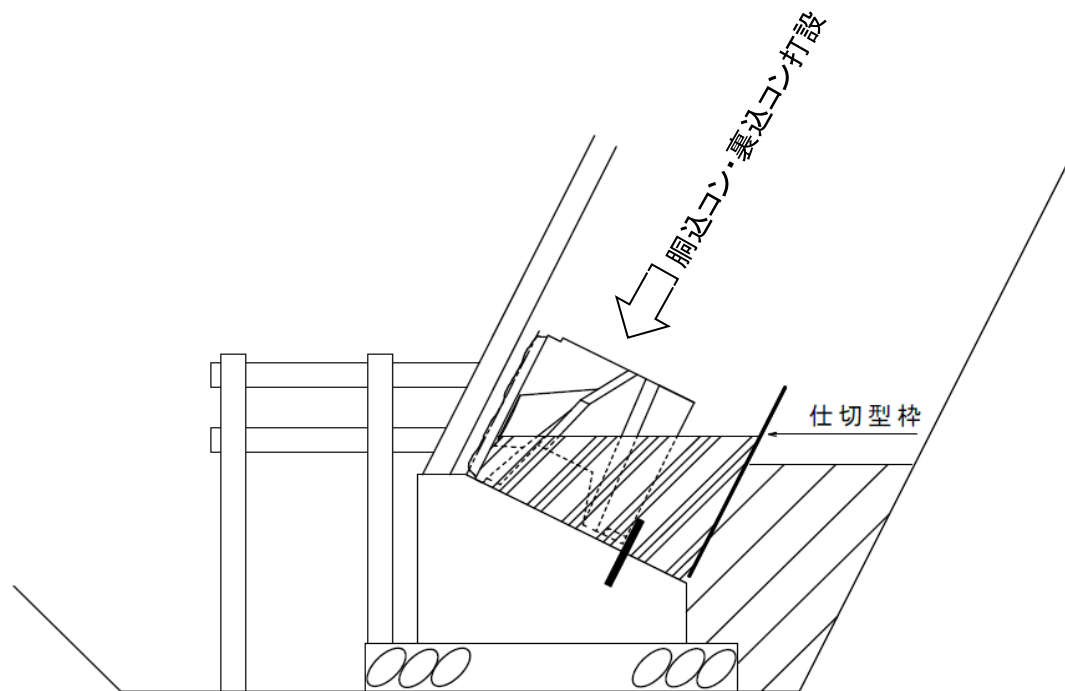


4. 最下段

4-6. 胴込・裏込コンクリート打設(最下段)

ホッパー打設にて胴込コンクリートを打設し、棒状振動機等を用いて締固めます。
(条件によってはシュートにて打設します。)

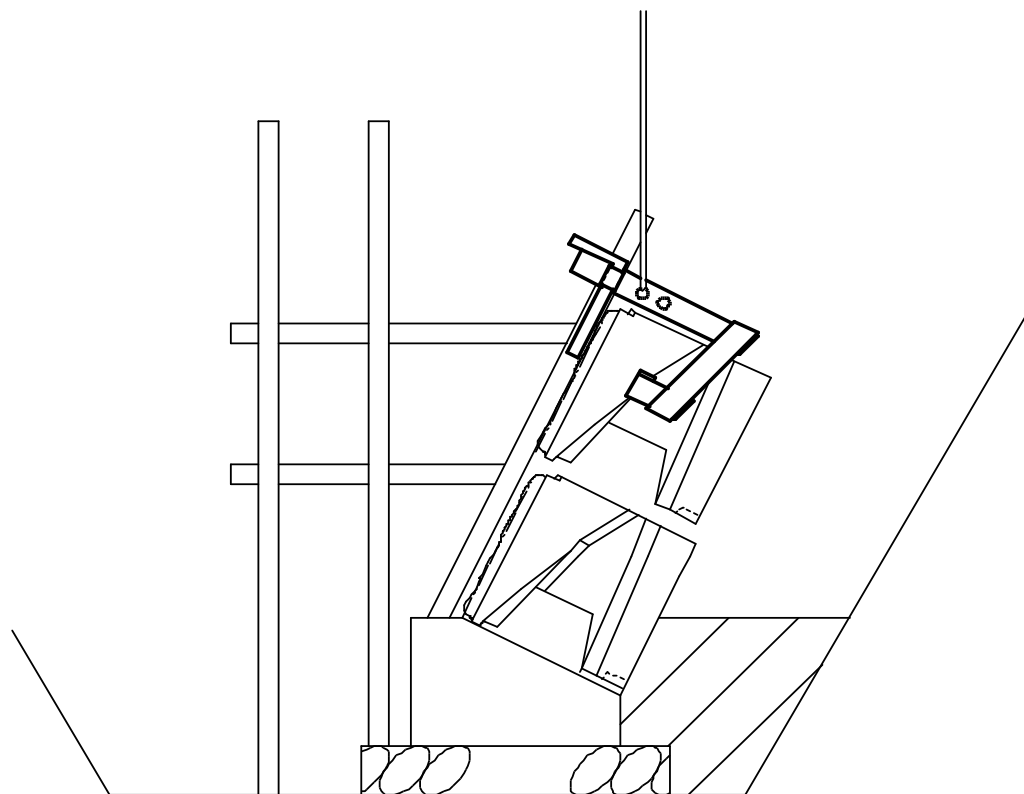
注意 : 生コン打設時の側圧・締固時の振動でイーグルデコ20Rがずれないように注意してください。
胴込・裏込コンクリートが完全に硬化すると仕切り型枠を引き上げづらくなります。仕切り型枠を引き上げるタイミングに注意してください。



5. 2段目

5-1. イーグルデコ20R据付

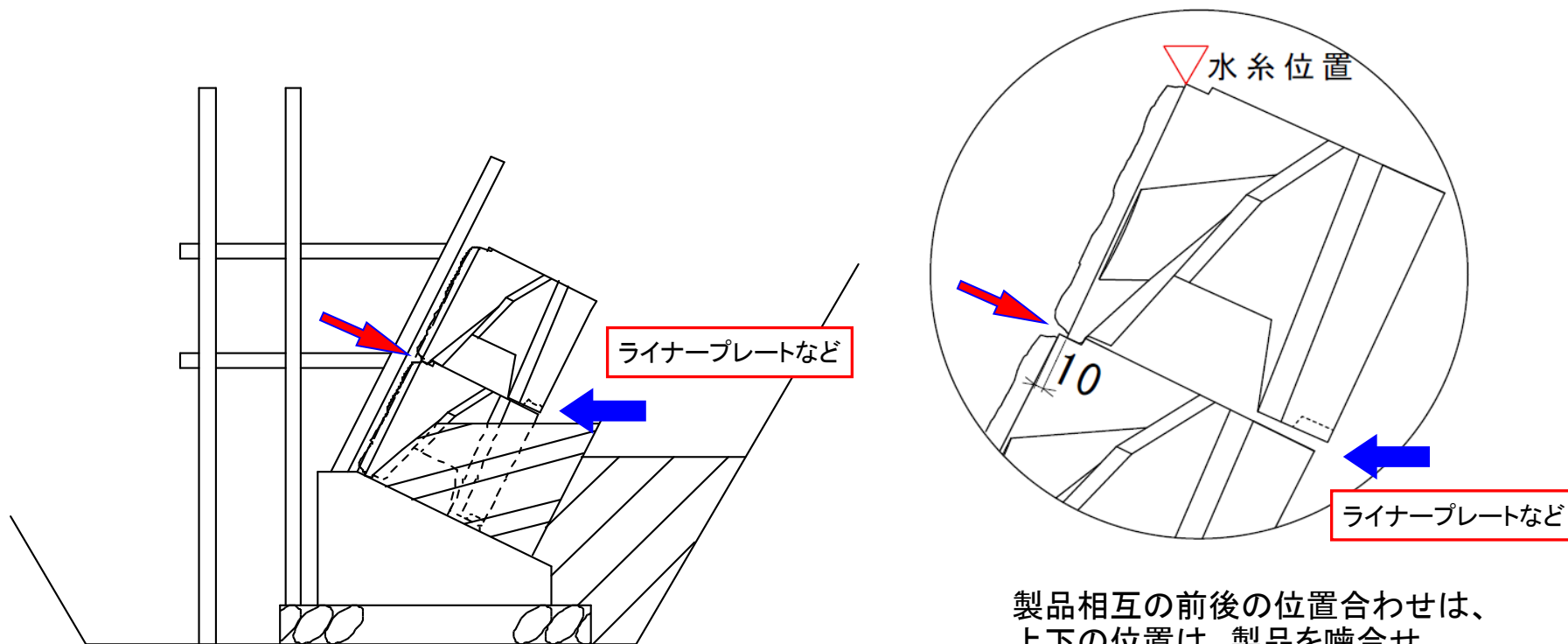
吊り荷作業時にはイーグルデコ20Rの下に絶対入らないでください。



5. 2段目

5-2. 法勾配調整

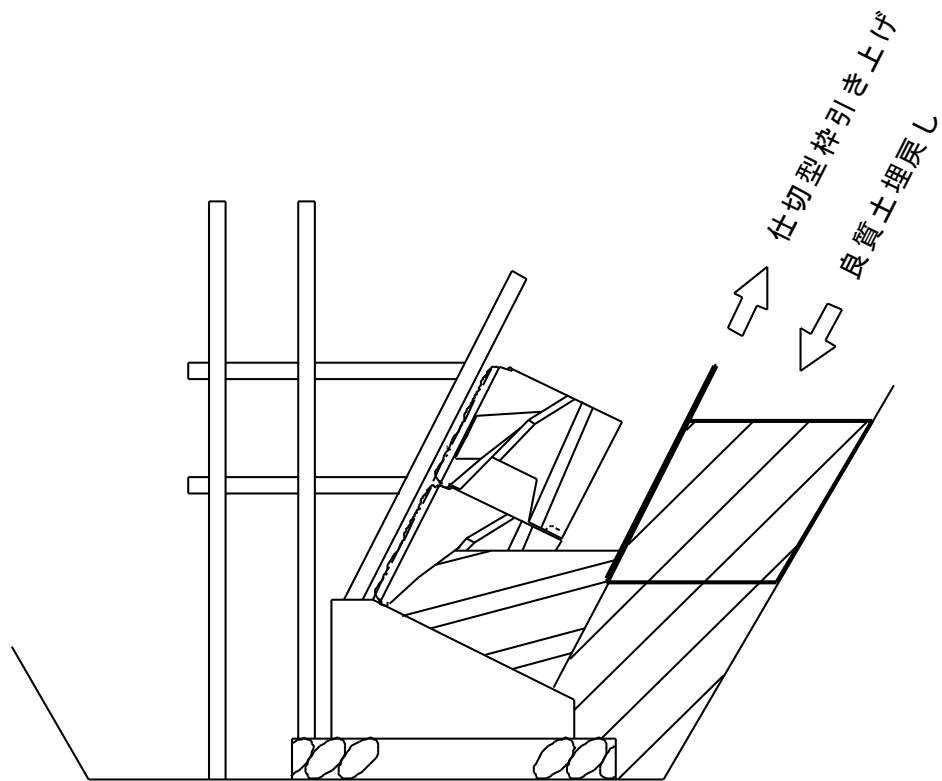
ブロックの法勾配は、ブロック背面にライナープレートなどを用いて調整してください。



製品相互の前後の位置合わせは、
上下の位置は、製品を噛合せ、
左右の位置、化粧部分ではなく、
製品角部で合わせてください。

5-3. 仕切り型枠引き上げ・良質土埋戻し

注意 : 仕切り型枠引き上げ時にイーグルデコ20Rや現場打コンクリートを破損しないように注意してください。
転圧するにはイーグルデコ20Rに当てないように注意してください。
埋め戻しの際、仕切り型枠の前面に土砂などが入り込まないように注意してください。

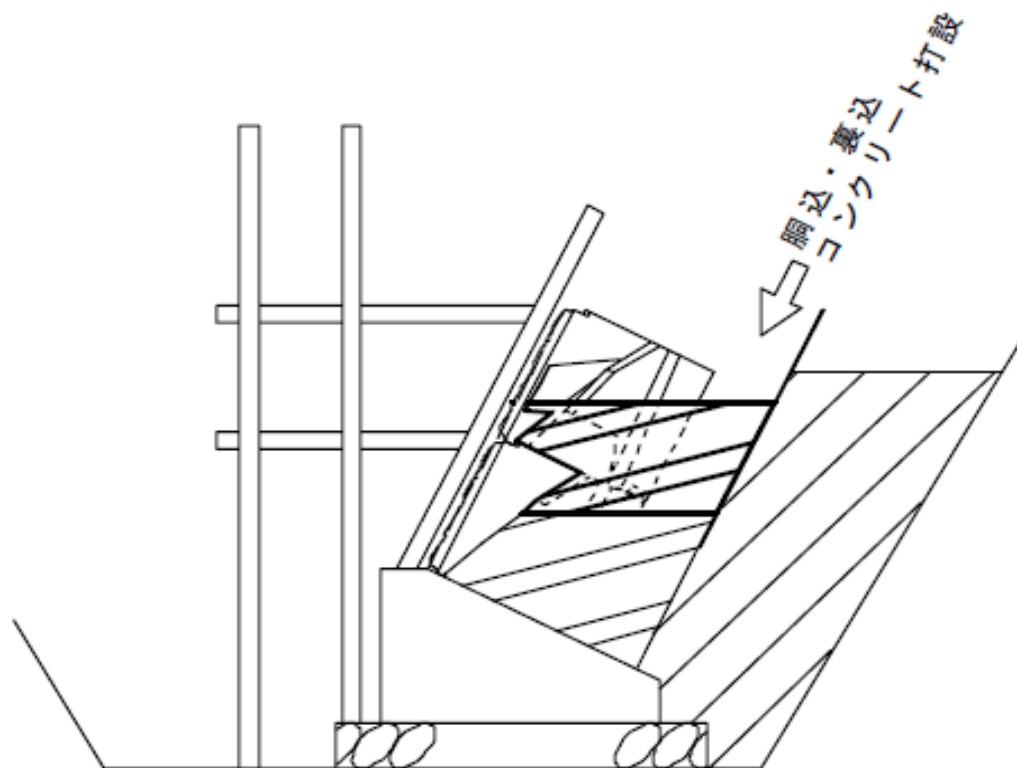


5. 2段目

5-2. 胴込・裏込材

背面の埋め戻しを行います。

転圧する際にはイーグルデコ20Rに当てないように注意してください。



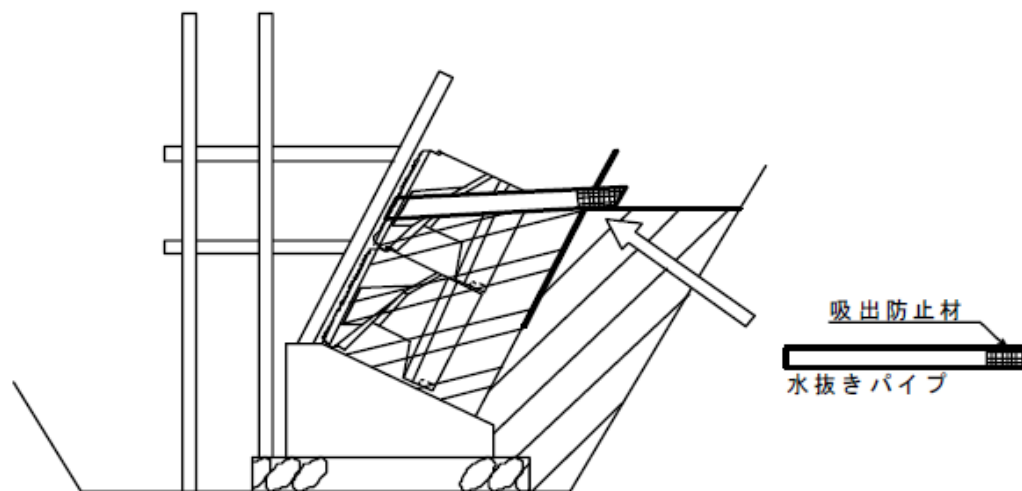
5. 2段目

5-5. 水抜きパイプの設置

パイプをワイヤー等で固定すると、胴込コンクリート打設時にずれません。

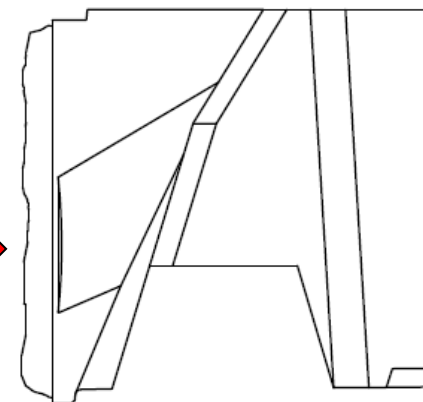
逆勾配にならないように注意してください。

設計図書・仕様書に従い、必要に応じてパイプ設置前に止水コンクリートを打設してください。



水抜き穴は、製品擬石面側からハンマー等で慎重に叩いて開けてください

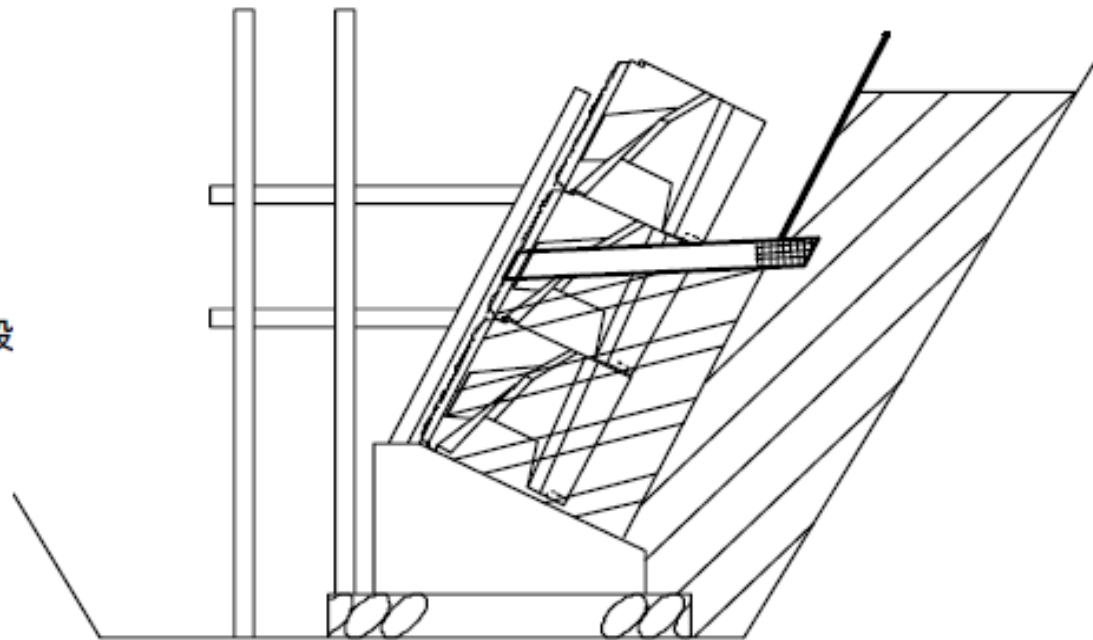
裏込めコンクリート側から行くと製品が割れる場合があります。



6. 3段目以降

6-1. 以降繰り返し

- ①製品据付
- ↓
- ②勾配・位置 調整
- ↓
- ③仕切り型枠 引き上げ
- ↓
- ④裏込砕石 埋戻し・転圧
- ↓
- ⑤胴込・裏込コンクリート打設
- ↓
- ⑥水抜きパイプ設置



製品図(参考)

